



1月14日、蓼川自治会とスマイル子ども会が恒例のどんど焼きを行いました。蓼川神社境内の広場にて。

増加する外国人労働者との共生に向けた取り組みは

あやせ未来会議 佐竹 百里

外国人労働者対策について
Q 入国管理法の改正により、外国人労働者の増加が見込まれるが、本市の課題は。

A 外国籍市民の生活環境を整え、共生関係を構築することが課題である。外国籍市民は事業所の戦力として活躍し、市のイベントに参加するなど良好な関係が築かれており、今後も、市の特性を生かした取り組みが重要と考える。

多文化共生の推進はどのように取り組むのか。
A 多文化共生の推進はコミュニケーション支援をはじめ、生活支援や外国籍市民との相互理解を促進する取り組みが重要だと認識している。

外国人技能実習生を受け入れる機関が担う役割は。
A 受入監理団体は、外国人技能実習生を受け入れ、実習実施機関である各企業で知識を修得させるとともに、技能実習が適正に実施されているか、確認と指導を行う。

風疹対策について
Q 国や市が行う風疹対策を、働く世代に対してどのように周知していくのか。

A 現在国が進めている新たな対策が示されたら、ホームページや広報誌に加え、各種通知などの機会を捉え周知していく。また、抗体検査や予防接種が望まれる働く世代の男性にも情報が伝わるよう、商工会などの経済団体を通じて周知も検討していきたい。

まちづくりでの市民活動の評価と今後期待することは

あやせ未来会議 安藤多恵子

まちづくりに寄与する市民活動、市民協働のこれからを考える
Q 市民団体はさまざまな分野で活動し、市政発展のために努力している。市民活動がまちづくりに貢献していることを、どう捉えているのか。

A 行政の手が届きにくい地域の課題に対し、市民活動が果たしてきた役割は大きいと考える。また、さらに活性化が進み、協働事業の担い手となる団体の増加を期待する。

環境問題における現代的課題にどう対処していくのか
Q マイクロプラスチックの問題を、現在見直している環境基本計画に位置付けては。

A 計画の基本目標である「ごみの減量化・3Rの推進」に、マイクロプラスチックに関する課題の情報収集と啓発活動を位置付けていきたい。

小学校の副読本「かわせみ」で学ぶ際に、環境問題の現代的課題を教えないか。
A 授業で使用する際、現代的課題を意識した指導を行うよう働き掛けていきたい。

あやびの着ぐるみを製作してふるさと意識の醸成を推進しないか
Q あやびの着ぐるみを製作する考えはないか。

A イラストを中心に活用を進めているため、着ぐるみの製作は考えていない。

自らが望む終末期を迎えるに当たって本市の現状は

畑井 陽子

終末期を迎えるに当たっての綾瀬市の現状について
Q 自宅で終末期を迎えるには地域での医療と介護の連携が不可欠だが、どのような課題があるのか。

A 医療や介護の現場で発生するさまざまな課題などを多くの関係者で話し合い、解決に向けた取り組みを行うとともに、その情報や手段を医療・介護関係者間で共有化する必要があると考えている。

他の自治体と比較して、本市は在宅医療を支える
Q 在宅医療を支えるために、本市は在宅医療を支える

在宅療養支援診療所の数が少ないが、市の取り組みは。
A 県の第7次保健医療計画では、県内の在宅療養支援診療所や病院数を増やすことを掲げている。市では、国や県に対して、訪問診療医の育成・確保や地域間で隔たりのない診療所の整備を求めている。

いじめや不登校に悩む児童・生徒や保護者の一人一人に対し、寄り添った支援ができる体制となっているか。
A 貧困や育児放棄など、

(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの有効活用を

あやせ未来会議 増田淳一郎

(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの有効活用と問題点について
Q 道の駅を計画していく中で、農業協同組合や商工会と連携する必要があると考えられているが、協議しているか。

A 農業協同組合とは正式な協議を行っており、商工会には当初計画時に協議会の委員を依頼している。今後も連携を密にし、事業を進めたい。

車両が道の駅へ進入しやすいよう、市役所入口の信号を北側に移設しないか。
A 市役所入口の信号機は、バスロータリーの出入り口でもあり、移設は難しい。

市役所南側道路の右折帯に大型車が待機すると、他の大型車が直進できず、渋滞が発生している。渋滞解消のため道路を拡幅しないか。
A インターチェンジの開通や周辺道路の整備により、交通量や交差点の利用形態が大きく変わることが想定されるため、実態を確認して渋滞対策を進めていく。

インターチェンジが開通し、県道42号線が渋滞した場合、インター隣接地区への進入車両が多くなると思うが、交通安全対策は。
A 各地区の実情に合った交通対策整備計画を策定しており、寺尾釜田・寺尾西地区は対策が完了した。小園早川地区は、平成31年度末までの完了を目指している。



綾瀬イルミネーションが昨年12月8日から26日まで開催されました。市役所南側広場にて。

障がい者や高齢者の仕事や暮らしについて
Q 市内にある特別養護老人ホームの待機者数は。また、新たな特別養護老人ホームの建設は考えないのか。
A 平成30年4月1日時点の待機者は185人である。また、特別養護老人ホームの整備は、市高齢者保健福祉計画や第7期介護保険事業計画でも位置付けていないため、整備事業者の公募や市が建設する予定はない。

民間施設の危険な塀対策について
Q 市は通学路と緊急輸送道路のブロック塀を調査している。生活道路沿いにも

危険な塀があるため、本市も市内全域を調査しないか。
A 現在、危険ブロック塀等耐震化補助金の拡充に加え、広報紙やホームページなどで事業を積極的に周知しているため、市内全域のブロック塀を調査する予定はない。今後も危険ブロック塀の解消をすすめる、安全・安心なまちづくりを推進したい。

公園対策について
Q 平成29年6月定例会で公園トイレの洋式化を要望したが、その後の改修状況は。
A 当時、既存の便器が破損した場合に洋式便器へ交換する旨を答弁したが、現在まで破損などが生じていないため、改修は実施していない。

あやせ未来会議 松本 春男

あやせ未来会議 松本 春男

満床となっている市内特別養護老人ホームの新設を

あやせ未来会議 松本 春男

満床となっている市内特別養護老人ホームの新設を
Q 市内にある特別養護老人ホームの待機者数は。また、新たな特別養護老人ホームの建設は考えないのか。

A 平成30年4月1日時点の待機者は185人である。また、特別養護老人ホームの整備は、市高齢者保健福祉計画や第7期介護保険事業計画でも位置付けていないため、整備事業者の公募や市が建設する予定はない。

民間施設の危険な塀対策について
Q 市は通学路と緊急輸送道路のブロック塀を調査している。生活道路沿いにも

危険な塀があるため、本市も市内全域を調査しないか。
A 現在、危険ブロック塀等耐震化補助金の拡充に加え、広報紙やホームページなどで事業を積極的に周知しているため、市内全域のブロック塀を調査する予定はない。今後も危険ブロック塀の解消をすすめる、安全・安心なまちづくりを推進したい。

公園対策について
Q 平成29年6月定例会で公園トイレの洋式化を要望したが、その後の改修状況は。
A 当時、既存の便器が破損した場合に洋式便器へ交換する旨を答弁したが、現在まで破損などが生じていないため、改修は実施していない。

あやせ未来会議 松本 春男

あやせ未来会議 松本 春男



あやせ未来会議 松本 春男